

この説明書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。また、必要なときに読めるよう大切に保存してください。



非ピリン系解熱鎮痛薬

痛みと熱に **ズバリ**[®] (頭歯利)

ズバリ(頭歯利)は2種類の解熱鎮痛成分、アセトアミノフェン、エテンザミドを中心に、鎮痛作用の補助として無水カフェイン、アリルイソプロピルアセチル尿素を配合しています。

確かな効果と素早い作用で頭・歯などの痛みによく利く富山の薬です。



使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがあります)
- 服用前後は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 水痘(水ぼうそう)もしくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある小児。(15歳未満)
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の診断を受けた人。 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|-------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消 化 器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい |
| そ の 他 | 過度の体温低下 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|---|--|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 薬剤性過敏症症候群 | 皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。 |

※裏面も必ずお読みください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|-------|--|
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| 腎障害 | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。 |
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| ぜんそく | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。 |

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなるらない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

- 頭痛・歯痛・神経痛・月経痛（生理痛）・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の用量をなるべく空腹時をさけて服用してください。
また、服用間隔は6時間以上おいてください。

| 年 齢 | 1 回 量 | 1 日 服 用 回 数 |
|-----------|------------|-------------|
| 15歳以上 | 1 包 | 2回を限度とする |
| 7歳以上15歳未満 | 1/2包 | |
| 7歳未満 | 服用しないでください | |

〔用法・用量に関連する注意〕

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 定められた用法・用量を厳守してください。

1日量(2包)中

成分・分量

| 成 分 | 分 量 | は た ら き |
|-----------------|--------|--|
| エテンザミド | 1000mg | 2つの成分の組み合わせがさまざまな痛み、熱の症状をおさえます。 |
| アセトアミノフェン | 600mg | |
| 無水カフェイン | 140mg | 痛みをおさえる成分の働きを助けます。また、脳血管の緊張をやわらげて、頭痛を鎮めます。 |
| アリルイソプロピルアセチル尿素 | 120mg | 痛みをおさえる成分の働きを助けます。 |

添加物として、リン酸水素Ca水和物、タルク、無水ケイ酸、クエン酸Ca、黄色5号を含有。

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変化します）
- 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- 表示の期限を過ぎたものは服用しないでください。

お問い合わせ先 中央薬品株式会社
お客様相談窓口 電話 076-493-5010
受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)

製造販売元  中央薬品株式会社
富山県富山市西四十物町4-9